



第38代ミス雪椿（左から瀬賀恵利美さん、渡辺浩子さん、スヴェトラナ アンドリュシチキナさん）

お気軽においでください。

市民と市長の「よもやま話」の日

7月8日(木) } 午後1時30分から行います。
15日(木) } 時間等については御相談ください。

【受付・問い合わせ】 市役所3階 総務課広報広聴係
(☎52-0080 内線323)
までお願いします

主な内容

- 第38回雪椿まつり 23
- 2004加茂桐たんす見本市を開催 45
- 市制施行50周年記念 藤原歌劇団
オペラ「蝶々夫人」鑑賞のご案内 6
- 職員採用試験のご案内 7
- 長年の功績を讃え 春の叙勲 8
- 加茂の風土記 10



左から 瀬賀恵利美さん 渡辺浩子さん スヴェトラナ アンドリエシキナさん

第38回 雪まつり

今年の四月は、初夏を思わせる晴天に恵まれ、加茂山公園のユキツバキやサクラも雪椿まつりに合わせて満開を迎えていました。

四日から始まった雪椿まつりも十一日の加茂山フレンドパーク、雪椿杯バレーボール大会、十八日の大園遊会、雪椿マラソン、二十五日の献花祭、二十九日の市民茶会と開催されていきました。期間中、上着がいらないうような晴天が続きましたが、二十九日の市民茶会は前日の雨で野点の準備ができず、屋内だけの茶席となりました。

【十一日】

この日は、勤労者体育センターで県内から十六チームが参加した第二十回雪椿杯争奪加茂



市近郷家庭婦人バレーボール大会と、加茂山公園を会場に加茂青年会議所など市内外の九団体が「昔の遊び」をテーマに加茂山フレンドパークが行われました。シャボン玉がおりなす昔ながらの遊びに、子どもたちも夢中になって杉木立の中を駆け回っていました。

【十八日】

雪椿まつりのメインイベントとなる大園遊会には、例年以上の観客が集まり、ひときわにぎやかになりました。

ミス雪椿の公開審査で、ミス雪椿クイーンに亀田町の渡辺浩子さん（大学生）、ミス雪椿には神林村の瀬賀恵利美さん（会社員）と加茂市（国籍ロシア）のスヴェトラナ アンドリエシキナさん（大学生）がそれぞれ選ばれました。スヴェトラナ



大島町との交流



大島・スーパーおんご娘の皆さん



ミス雪椿候補の皆さん



ミス大島の桑原美佳さん



民謡団体のアトラクション



来賓の菊田真紀子衆議院議員

アンドリュシチキナさんは、歴代ミス雪椿では初めての外国人で新潟経営大学に留学しています。今後一年間いろいろな場面で加茂市の観光PRなどに活躍していただくこととなります。

アトラクションでは、市内の民謡四団体による歌と踊りが披露され、続いて香山みどりさんの歌謡ショーが行われました。

大園遊会の後半は、大島町の皆さんとの交歓会で、記念品交換や大島町差木地婦人会・スーパードール・大島御神火太鼓による芸能披露がありました。

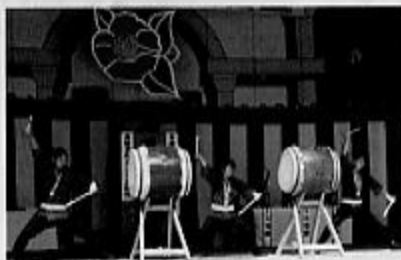
その後、加茂駅前からゆきつばきマラソンがスタートし、続いて県警音楽隊・カラーガーズを先頭に市中パレードが行われ、初夏を思わせる暖かさのうちに大園遊会が終わりました。

【二十九日】

前日までの雨の影響で、市民



香山みどりさんの歌謡ショー



勇壮な御神火太鼓

茶会の加茂山公園野外ステージの杉木立と池の端での野点はい会場変更となりました。当日は青空が広がる暖かい一日で、各茶席はお待たせするお客さまが出るほどのにぎわいとなりました。午前中にはミス雪椿の渡辺さん、瀬賀さん、スヴェトラナさんが各茶席を回り、いっしょに記念写真を撮られる場面が見受けられました。



ミス雪椿の二人



ミス大島とミス雪椿クイーン



県警音楽隊とカラーガーズ



衆ヶ岳山開き(29日)



29日の市民茶会



11日の加茂山フレンドパーク

2004 「加茂桐たんす」見本市



五月十四日から十六日までの三日間、産業センターで「加茂桐たんす」見本市が開催されました。

これまで、県内の木工業界が一堂に会して行われてきた見本市が、平成十四年を最後に開催されなくなりました。そこで、市では昨年からの産業センターを会場に、加茂を代表する木工産業界を支援する目的で約三百五十万円の予算を計上しています。このほかにも、県外での展示会や製品PRなどで、木工業界の支援を予定しております。



伝統が育んだ木物が集う。

祝 市制施行50周年
2004
加茂桐たんす 見本市

開催地 新島町の伝統的工芸品

主催 新島町振興局 新島町観光協会 新島町商工会 新島町木匠会 新島町木工協会の会合

会場 新島町総合体育館（〒959-8501 新島町）

会期 5月14日（土）～16日（月）

入場料 無料

お問い合わせ 新島町観光協会 電話 0236-22-1111

新島町観光協会 〒959-8501 新島町 新島町総合体育館 1階



二回目となる今回は、加茂箒箆協同組合の二十一社から展示され、伝統的な和たんすから現代的なデザインの桐たんすが会場内に並べられました。この加茂の桐たんすのほか、県内の伝統的工芸品も紹介するスペースを取り入れ、来場者に確かな技術と製品をPRしました。

加茂の「桐たんす」は昭和五十一年十二月に伝統的工芸品の指定を受けています。会場には同じく指定を受けている小千谷紬、小千谷縮、塩沢紬、本塩沢、十日町緋、十日町明石縮、村上木彫堆朱、新潟漆器、越後与板打刃物が展示されました。この中で新潟漆器は、新潟、亀田、豊栄のほかに加茂も代表産地と



して紹介されています。

桐たんすは、日本の気候風土にあった材質で、湿度に合わせて呼吸することによって、たんすの中の衣類を守ります。たんす自体が汚れてしまっても、表面を薄く削ることで、白い桐の地肌が蘇り、長く使っていけるものでもあります。

十四日は、木工業界・流通業界関係者への展示で百五十人を超える関係者が集まりました。十五・十六日の二日間、一般公開され、展示されている「たんす」を気に入られたお客さまもいたようです。

今回の見本市は、三日間で千人を超える来場者でにぎわいました。



㊦ 加茂市市制施行50周年記念

藤原歌劇団オペラ 『蝶々夫人』



7月4日(日)

開演：午後2時・終演午後4時45分

会場：加茂文化会館

入場無料 (入場整理券
が必要です)

出演：藤原歌劇団

東京ニューフィルハーモニック管弦楽団

主催：文化庁・加茂市 ほか



加茂市出身の三浦克次
さんもシャープレス
(米国領事)役で出演

物語

明治時代の長崎を舞台に、アメリカ海軍士官との愛に命をかけた薄幸の日本女性を描いたオペラ『蝶々夫人』は、世界中で親しまれているイタリアの名作オペラの一つです。

若く美しい蝶々さんは、ピンカートンと結婚するためにキリスト教に改宗するほど真剣であったが、ピンカートンの方は一時の気紛れで、本当の結婚はアメリカ女性とする気である。そんな彼を領事のシャープレスはたしなめる。結婚式も終わり、二人は幸せな生活をはじめますが、ピンカートンはまた戻ってくるといって本国に帰って行く。三年後、召使いのスズキをはじめ誰もがピンカートンの帰国を疑うが、蝶々さんはかたくなに待ちつづける。ある日、港から大砲の音が聞こえ、ピンカートンの乗った軍艦が入ってくる。蝶々さんは喜びによいしれるが…。

入場整理券応募方法

往復はがきの往信用裏面と返信用表面に、①郵便番号②住所③名前(往信用裏面には電話番号も)を明記し、お申し込みください。

締め切り6月25日(金)消印有効

※応募者多数の場合は、抽選のうえ入場整理券をお送りします。(1枚で1名様が入場できます)

往信おもて	返信うら	返信おもて	往信うら
<input type="checkbox"/> 959-1313 加茂市幸町2-3-5 加茂文化会館 「オペラ」係	(何も書かない)	<input type="checkbox"/> 〇〇〇-〇〇〇〇 ご自分の住所 お名前 電話番号	郵便番号 ご自分の住所 お名前

9月28日(火) オーケストラ・アンサンブル金沢 スペシャルコンサート

渡辺晋一郎さんの楽しいトークと新潟出身ヴァイオリニストの鍵富弦太郎さんの演奏
19:00 開演 全席指定 3,500円 7月18日一斉発売

お問い合わせ **加茂文化会館**

959-1313 加茂市幸町2-3-5
TEL 53-0842

加茂市職員 加茂市・田上町消防衛生組合職員

職員採用試験を実施

平成十七年四月採用予定の加茂市職員と加茂市・田上町消防衛生組合職員の採用試験を行います。採用予定人員などは左表のとおりです。

■第一次試験

【加茂市職員】

▼一般事務職：教養試験、適性試験、性格診断試験、作文試験

▼土木技術職：教養試験、専門試験、適性試験、性格診断試験、作文試験

▼建築技術職：教養試験、専門試験、適性試験、性格診断試験、作文試験

【加茂市・田上町消防衛生組合職員】

▼消防職：教養試験、適性試験、性格診断試験、作文試験

■試験日

▼一般事務職、土木技術職、建築技術職および消防職の各上級試験：7月25日(日)

▼一般事務職、土木技術職、建築技術職および消防職の各中・初級試験：9月19日(日)

■第二次試験 ■第一次試験合格者に対し、面接試験を行います。

■申込書受付期間 ■一般事務職、土木技術職、建築技術職および消防職の各上級試験：6月30日(水)まで

▼一般事務職、土木技術職、建築技術職および消防職の各中・初級試験：7月22日(木)から8月23日(月)まで(受付は、土・日曜日を除く、午前8時30分から午後5時まで)

■提出書類 ■受験申込書(履歴書)は市役所総務課組織人事係にあります。消防職については加茂地域消防本部(☎52-11770)にもあります。

■提出先・問い合わせ ■総務課組織人事係(☎内線322)へ。

※受験申し込みは、左表のうち1試験職種に限ります。

【加茂市職員】

試験職種	採用予定人員	受験資格
一般事務職 (上・中・初級) 土木技術職 (上・中・初級) 建築技術職 (上・中・初級)	若干名	【上級】昭和52年4月2日から 58年4月1日までに生まれた人 【中級】昭和56年4月2日から 60年4月1日までに生まれた人 【初級】昭和58年4月2日から 62年4月1日までに生まれた人

【加茂市・田上町消防衛生組合職員】

試験職種	採用予定人員	受験資格
消防職 (上・中・初級)	若干名	加茂市または田上町に在住もしくは 在住見込みの男性で次に該当する人 【上級】昭和52年4月2日から 58年4月1日までに生まれた人 【中級】昭和56年4月2日から 60年4月1日までに生まれた人 【初級】昭和58年4月2日から 62年4月1日までに生まれた人

長年の功労・功績に感謝 春の叙勲

春の叙勲で、市内から初の危険業務従事者叙勲を含む二人の皆さんが栄えある受章に輝きました。その喜びの声を伺いました。

旭日小綬章

(地方自治功労)



永井 栄治郎さん
(上条・70歳)

「あちこちからお祝いの言葉をいただき、受章の重みを感じている」という永井さんは、昭和五十年五月から平成十一年四月まで連続六期二十四年にわたり、市議会議員を務めました。この間、正副議長各四年をはじめ、総務文教常任委員長、議会運営委員長、河川改修促進特別委員長、駅周辺環境整備特別委員長などを歴任、市政に大きな貢献をされました。昭和五十年六月十四日の加茂市議会会議録をめくると「地域社会を形成するのは、安全性、豊かさの追究、将来展望が三要

瑞宝単光章

(警察功労)



大塚 由次さん
(希望ヶ丘・78歳)

「区画整理事業後も近代化が進む商店街に、集客力のある加茂山がそばにあるのはよそにない大きな魅力。強制執行することなく千百棟もの移転により実現できた加茂川改修。両事業とも市民協力のたまもの」と、市民に感謝します。

「因」と、四十一歳の永井さんは初登壇の一般質問で訴えていきます。この信念に基づいて、駅前地区の区画整理事業や河川改修事業に、持ち前の行動力で市当局とともに地域住民の理解と協力を得るため全力を注ぎました。「区画整理事業後も近代化が進む商店街に、集客力のある加茂山がそばにあるのはよそにない大きな魅力。強制執行することなく千百棟もの移転により実現できた加茂川改修。両事業とも市民協力のたまもの」と、市民に感謝します。

議員活動のほかにも、市民大講義の初代運営委員長を十年務め、二十九回目を数える今日の礎を築きました。趣味は「囲碁とウオーキング」で「新潟駅まで六時間余りかけて歩いたり、ばかなことをしている」と笑い飛ばしました。とても古希を迎えたとは思えない現役当時の若さを保つ永井さんです。

警察制度の改正を経験し、一番の思い出を新潟市内で勤務していたときの「新潟大火と新潟地震」と言います。火災時には火の回りが速いなか周辺住民に避難を呼びかけ、地震では自宅が半壊という惨事にもかかわらず警察業務最優先で職場に向向き仕事に当たりました。事件や事

故での出勤は当たり前で災害時にも出勤、常に住民の安心、安全を第一に行動してきました。退職後は、奥さんと二人住まい。広い庭は奥さんに任せっきりで、趣味は特にありませんが「テレビで野球や大相撲などを見るのが楽しみ」という悠々自適の毎日です。

夢を開花するため、日々精進

2004・加茂市成人式

五月三日、文化会館で成人式が開催されました。今年市内の対象者(昭和五十八年四月二日から昭和五十九年四月一日生まれの人)四百五十九人のうち、三百四十八人の出席があり、久しぶりに会う同級生との会話が

会場がにぎやかになりました。式典では新成人を代表して中村翔さんが「夢を開花させるため、少しずつでも成長できるよう歩き始めます」と二十歳の誓いを述べました。記念撮影後、産業センターで立食パーティーとアトラクションなどで二十歳のひとときを楽しんでいました。





私たちの生涯には、それぞれの年代に特有な歯や歯ぐきの障害となる問題があります。その問題を適切に解決していくことが、生涯を通じて健康で豊かな生活を送ることに繋がります。

健全な状態を維持していくには、どのような注意が必要なのでしょう。

■胎児期
妊娠して第七週で乳歯の芽がで始めます。お母さんは栄養バランスのとれた食事を心がけましょう。

妊娠中は、むし菌が多発したり、歯肉が腫れたりすることもありますが、お口の清掃を心がけましょう。この時期は、お母さんと赤ちゃんの二人三脚でがんばってください。

■よく噛む習慣は、母乳で育てることから始まります
母乳を吸うときのあごの上下の運動は、口の周りの筋肉を発達させ、乳歯の歯並びをきれいにします。

また、正しい哺乳は舌の大切

なトレーニングになり、その後の咀嚼の発達に大きく関係してきます。

■離乳食は、
噛むための大切なステップ

「噛む」ということは、生まれつき備わっているものではなく、成長段階で噛む欲求が現れ、訓練によって身につくものです。

離乳食は、栄養摂取の問題だけでなく、噛む力を育てるための大切なステップです。

■よく噛むことで味覚の発達を促します

よく噛むと、食べ物本来の味がわかります。できるだけ薄味にし、よく噛んで食材そのものの持ち味を味わうよう心がけましょう。

■歯をみがく習慣を

つけさせましょう
乳歯をむし菌にすると体の発育に影響を及ぼすとともに、楽しいはずの食事も苦痛になってしまう場合があります。

歯みがきの習慣を身につけることが大切です。

(加茂市歯科医師会)

生涯を通じた歯の健康づくり①

～胎児期・乳幼児期～

第20回雪椿杯争奪

加茂市近郷家庭婦人

バレーボール大会

期日 四月十一日

会場 勤労者体育センター、
下条体育センター

参加数 中・下越から十六チーム

【結果】①白鳩(新津市) ②新潟ひかりクラブ(新潟市) ③四日町クラブ(三条市) ④つかさクラブ(加茂市)

最優秀賞 笠原郁美(白鳩)

優秀賞 土田久美子(新潟ひかり)

技能賞 渡辺恵奈(白鳩)

〃 佐々木真由美(新潟ひかり)

敢闘賞 水島正子(四日町クラブ)

〃 金子久美子(つかさクラブ)

第25回雪椿マラソン

期日 四月十八日

午後二時三十分・駅前スタート

【3 km コース】 駅前、駒岡橋、陸上競技場

▼小学三・四年男子①阿部史謙(加茂小) ②高井瑞樹(下条小)

③山口昌志(同) ▼同女子①大倉ありさ(三条裏船小) ②馬場朝子(石川小)

④諸橋えみな(同) ▼小学五・六年男子①山本雄翔(五泉少年マラソンクラブ) ②田辺匠(加茂小)

③桑原高人(下条小) ▼同女子①吉田皆美(白根茨曾根小) ②西山瑞穂(弥彦小) ③御代田瞳(五泉少年マ



ラソンクラブ) ▼中学女子①相場耶絵(燕北中・最優秀選手賞) ②渡辺月子(亀田中) ③家塚麻美(小須戸中) ▼高校・一般女子①波塚美奈子(下条小教) ②鶴巻ジュディ(桜沢)

③大湊証子(加茂福祉会)

【5 km コース】 駅前、小貫橋、陸上競技場

▼中学男子①奥村翔太(亀田中・最優秀選手賞) ②大瀧健作(五泉北中) ③松田裕邦(田上中)

▼一般・高校男子(二部) ①志村英洋(新潟県警) ②五十嵐嵩裕(三条高) ③阿部浩巳(新潟市役所) ▼社



年(40才以上)の部①山崎裕之(西山町別山郵便局) ②須田八郎(長岡市教育委員会) ③田代修(県立教育センター)

【10 km コース】 駅前、七谷大橋、陸上競技場

▼一般・高校男子(二部) ①佐藤美教(三条地域消防本部) ②保倉信明(加茂地域消防本部) ③佐藤誠(荒沢郵便局)

第56回加茂市少年野球大会

期日 四月二十九日

会場 川西野球場

【結果】
優勝 加茂中学校
準優勝 葵中学校

第24回全日本学童野球 中越大会予選会

期日 四月二十九日、五月三日

会場 七谷野球場

優勝 南イークルス
準優勝 下条ファイターズ



小乙・諏訪神社の社叢と

七谷鉾山・渡邊元

諏訪神社の境内は、後ろの山に至るまで、すくすくと伸びた杉の美林に覆われて神々しい。拝殿内正面に嘉永六年（一八五三）奉納の岩戸神楽絵の掲額が目を引き、左側二枚目に「寄附杉苗貳百五拾本・大正九年十月三十日・長崎県高来郡深海村・渡邊元」と墨書した奉納札が掲げられている。

元は南柳・海村と号し、安政二年（一八五五）佐賀藩飛び地領深堀四千石の側用人渡邊開樹の長男として出生。父は明治維新後、士族の出資で深堀商會を設立し、炭坑経営などで旧藩主の財政に寄与していたが、明治七年（一八七四）佐賀ノ乱に連

座し、除族処分を受け退隠。元は跡を継ぎ深堀商會社長として一時は三井・三菱炭坑に次ぐ炭坑に成功したが、旧主鍋島家に返上し、明治三十六年、四十八歳で廃業している。その間、アジア革命活動の志士宮崎滔天と結び、朝鮮李朝の独立運動家金玉均や、中国国父と呼ばれた革命家孫文などを陰で支援したという「無名の英雄」である。

「諏訪神社記録」によれば、「明治維新後、社地ハ旧村松藩士族笠原昌高へ私下ゲトナリテルヲ遺囑ニ思ヒ氏子ニテ買受ケ候」と述べている。笠原家は村松藩士で代々八内と称し、三人扶持銀九十匁の家柄であった。

加茂の風土記



小乙の諏訪神社にある杉苗寄贈の奉納札

大正九年（一九二〇）境内の杉百八十二本を千四百余円で売却して社殿や境内の整備に充て、秋に元が寄贈の杉苗二百五十本と、氏子十人の寄付による杉苗二百五十本を境内に栽植したという。元は既に大正七年に亡くなり、この年は三回忌に当たるから、遺族が親しい知人が訪れ、杉苗を寄付したものであろうか。

大正六年九月二十二日付「新潟新聞」は「渡邊元氏経営の七谷鉾山は、亜鉛・銀・銅・鉛にして籠甲車鉛と稱する七〇%の亜鉛を産す」としている。大正三年第一次世界大戦の勃発に伴い、にわかには鉾山事業が脚光を浴びたころ、元は七谷鉾山に入ったのではないかと思われる。生前の元を知る小柳鶴一元加茂市議から話を聞いたことがある。「習字を習ったり絵本をもらった。独りで、目が悪く近所の人から新聞を読んでもらった。優しい人で、私は七歳ぐらいだった」と語られた。元は屋号と七、小乙白板鉾山友子、小柳藤吉家を七谷鉾山事務所と宿舍とし、大正七年四月十七日に、ここで六十三歳の数奇な生涯を閉じたのである。

時に、諏訪神社に参じ元翁の不届の志を偲ぶ。空を覆う社叢は、元翁形見の杉苗の成長かと思ふ。往事すべて茫々である。

(古川 信三)

人口のうごき

5月1日現在

世帯	9,890 (+ 8)
人口	32,865 (-19)
男	15,917 (- 7)
女	16,948 (-12)

() 内は前月比

(4月異動分)

出生	19 (男12 女 7)
死亡	17 (男10 女 7)
転出	98
転入	77

▼加茂地区メーター実行委員会
一万三千五百四円

▼喜寿会から(アルミ缶回収金)
三万円

▼茂岡考行さん(故・茂岡シヨ
ンさん・レイ子さんのご遺族
中大谷)から
十万円

▼喜寿会から(アルミ缶回収金)
三万円

▼加茂地区メーター実行委員会
一万三千五百四円

▼外石敏男さん(故・外石たい
さんのご遺族 前須田)から
二万円

▼全国松坂・小唄日本一大会実
行委員会(四月十一日に文化会
館で開催された全国松坂・小唄
日本一大会でのチャリティ募金)
から
五万四千二百二十四円

▼小柳友蔵さん(天神林)から
十万円

▼茂岡考行さん(故・茂岡シヨ
ンさん・レイ子さんのご遺族
中大谷)から
十万円

▼喜寿会から(アルミ缶回収金)
三万円

▼加茂地区メーター実行委員会
一万三千五百四円

加茂市へ

▼チェリークラブ(社交ダンス
代表 岡 豊さん)から
CD-MDラジカセ一台

▼株式会社中越シール印刷(三
条市直江町四)から
防犯ブザー二百九十個

●発行 加茂市役所
新潟県加茂市幸町二丁目三番五号
Tel: 02566-0080
Fax: 02566-2720
e-mail: kamo@city.kamo.niigata.jp
ホームページ: http://www.city.kamo.niigata.jp

●編集 総務課
●印刷 株小野塚印刷所